

---

# 更 尽 会 第 1 7 回 総 会

---

日時 2018年12月1日（土）16時00分～17時00分

場所 水戸プリンスホテル

## 議 事 次 第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事
  - 1) 2017年度活動報告について [第1号議案]
  - 2) 2017年度決算報告について [第2号議案]
  - 3) 第9期（2017～2018年度）新幹事について [第3号議案]
  - 4) 2018年度活動計画について [第4号議案]
  - 5) 2018年度予算について [第5号議案]
  - 6) 2018年度会計監査役について [第6号議案]
  - 7) その他
5. その他
6. 閉会

## 更尽会（こうじんかい）について

「更尽会」は茨城大学工学部建設工学科・都市システム工学科の卒業生および教職員を中心とする同窓会であり、2001（平成 13）年 5 月 12 日に行われました学科設立 20 周年記念式典において発足しました。

本会の名称「更尽会」は、茨城大学元学長であり、本学科の設立にご尽力くださった故 黒木剛司郎先生 に命名していただきました。

「更尽」とは、有名な漢詩「君に勧む 更に尽くせ 一杯の酒 西のかた 陽関を出ずれば 故人無からん」から二文字をとったもので、この漢詩は遠く辺境の地に赴任する親友を送るにあたって王維という唐の詩人が読んだものです。

黒木先生の同窓会名称の命名に関しては、「本学科で共に学んだものの友情を温め、これからも親睦を図って欲しい」との願いが込められています。

## 更尽会 2017 年度活動報告

年月	内容
2017 年 (平成 29 年) 4 月	<p>■平成 28 年度卒業生・修了生の年会費の払込を代行した(4/3). ・前年度 3 月に預かった会費:69 名(316 件分).</p> <p>■学科支援活動(新 2 年生歓迎行事への助成)を実施した(4/26). ・2017(H29)年度の新 2 年生歓迎行事に対して更尽会から懇親費用を助成した. ・また, 生協(日立キャンパス)において実施された懇親会において, 根田副会長が挨拶し, 更尽会の活動などについて紹介した.</p>
2017 年 (平成 29 年) 10~11 月	<p>■第 24 回幹事会をメール審議により実施した(10/29~11/10). ・第 9 期幹事および 2016 年度更尽会会計について議論した. ・2017(H29)年度総会(第 16 回)の議案について議論した.</p> <p>■会計監査(2016 年度分)を, 茨城大学水戸キャンパス(図書館セミナールーム)にて実施した(11/12).</p>
2017 年 (平成 29 年) 12 月	<p>■第 16 回総会を水戸京成ホテルにて実施した(12/16). ・総会には 16 名が出席し, 2016 年度活動報告と決算報告, 第 9 期新幹事, 2017 年度活動計画と予算, 2017 年度会計監査役について議論した. なお, 第 9 期会長には松本智良氏, 副会長には大谷俊夫氏と根田信義氏が選任された. ・総会後には, 有志(21 名)による懇親会を開催した.</p>
2018 年 (平成 30 年) 2~3 月	<p>■学科支援活動(卒業研究・修士論文発表賞の贈呈)を実施した.</p> <p>→卒業研究発表賞 3 名 ※敬称略 ◎最優秀賞 1 名 舩谷 明音(水圏環境) ○優秀賞 2 名 大平 真央(水圏環境), 高倉 信一(交通・地域計画)</p> <p>→修士論文発表賞 5 名 ※敬称略 ◎最優秀賞 3 名 川瀬 俊明(交通・地域計画), 中野 葵(構造・地震工学), 増子 沙也香(水圏環境) ○優秀賞 2 名 小池 海(水圏環境), BUI THANH HAI(水圏環境)</p>
2018 年 (平成 30 年) 3 月	<p>■学科行事として開催された「茨城大学建築都市デザインレビュー 2018」(3/16~19, 於:茨城県民文化センター県民ギャラリー)に対して祝花を贈呈した.</p> <p>■平成 29 年度卒業生・修了生への対応(情報登録+年会費)を実施した. →年会費については 73 名(348 件分)の納付があった. →払込みの代行については H30.4.10 に実施した.</p>

## 更尽会2017年度 (2017. 4. 1~2018. 3. 31) 決算

## 【収入の部】

(単位:円)

科 目	2017年度予算	2017年度決算	備 考
年会費	634,000	642,000	2,000円×321件(2017.4.1~2018.3.31)
寄付	0	0	
雑収入	535	2	利息(銀行口座)
前年度繰越金	3,103,465	3,103,465	
計	3,738,000	3,745,467	

## 【支出の部】

(単位:円)

科 目	2017年度予算	2017年度決算	備 考
通信費	10,000	3,024	総会案内発送用切手(客員会員用)
備品・消耗品費	10,000	108	総会案内用はがき
会議費	10,000	0	
印刷費	20,000	20,340	封筒印刷(長3, 1000枚)
交通費	50,000	6,740	会計監査・特別講師の旅費
総会運営費	50,000	38,016	総会会場費
報奨費	100,000	117,280	在学生学術活動の報奨, 学科企画助成
雑費	10,000	9,050	年会費振込手数料
予備費	3,478,000	21,200	お悔やみ生花代(1名), 学科建築展お花代
次年度繰越金	0	3,529,709	
計	3,738,000	3,745,467	

監査の結果、上記収支決算が適正であることを証明します。

2018 年 9 月 29 日

2017年度 会計監査役

作山 卓也



高橋 亨



## 更尽会第9期（2017～2018年度）役員

## 会 長

卒業年度	氏 名
昭和59年度	松 本 智 良

## 副会長

卒業年度	氏 名
昭和59年度	大 谷 俊 夫
昭和60年度	根 田 信 義

## 幹 事

卒業年度	氏 名	
昭和59年度	松 本 智 良	大 谷 俊 夫
昭和60年度	根 田 信 義	蛭 町 修 身
昭和61年度	野 中 伸 一	須 原 茂
昭和62年度	長 山 公 信	早 川 裕 史
昭和63年度	古 川 英 希	山 田 道 雄
平成元年度	原 田 隆 郎	濱 崎 健
平成2年度	宮 本 仁	平 野 有 志
平成3年度	高 橋 学	人 見 満 博
平成4年度	小 林 卓 也	橋 本 則 保
平成5年度	大久保 啓 一	松 本 隆 弘
平成6年度	金 原 和 彦	小 山 博 之
平成7年度	藤 田 昌 史	平 澤 俊 之
平成8年度	西 坂 淳	越 川 満
平成9年度	石 川 慎 吾	菊 池 稔 明
平成10年度	飯久保 励	山 川 良 徳
平成11年度	岩 下 健太郎	小 針 修 一
平成12年度	石 内 鉄 平	坂 本 宏 司
平成13年度	高 崎 拓 也	海老澤 彰
平成14年度	大 信 克 男	鈴 木 久美子
平成15年度	伊 藤 徹	宮 内 大 輔
平成16年度	鈴 木 希 美	米 川 義 幸
平成17年度	大 森 慎 哉	小 林 正 明
平成18年度	大 内 はるか	信 山 和 大
平成19年度	猪 狩 淳	杉 浦 航
平成20年度	石 橋 直 樹	北 山 貴 大
平成21年度	遠 藤 さち恵	宮 崎 博 史
平成22年度	小山田 拓 郎	山 城 健 太
平成23年度	小 栗 光	渡 邊 義 仁
平成24年度	江 刺 宏 紀	久 保 美 春
平成25年度	川 部 優 太	鈴 木 彩斗美
平成26年度	梶 山 大 貴	当 銘 葵
平成27年度	飯 田 大 貴	小 池 海
平成28年度	北 沢 大 海	西 田 杏 花
平成29年度	小 貫 浩 輝 ※	谷 口 宥 斗 ※

※印：新幹事（案）

## 更尽会 2018 年度活動計画（案）

### 1. 幹事会および総会について

2018 年度の幹事会はメール審議によって実施する。また、総会は以下のとおり実施する。なお、必要な場合には、臨時の幹事会を開催する。

#### 【第 25 回（2018 年度）幹事会】※メール審議

- ・開催日時：2018 年 9 月 9 日（日）～9 月 20 日（木）
- ・議事内容：2017 年度会計および 2018 年度総会議事内容などについて審議する。

#### 【第 17 回総会】

- ・開催日時：2018 年 12 月 1 日（土）16:00～17:00
- ・開催場所：水戸プリンスホテル
- ・議事内容：2017 年度活動報告および決算，第 9 期新幹事，2018 年度活動計画および予算，2018 年度会計監査役などについて審議する。

### 2. 学科支援活動について

昨年度までと同様に、在学生への進路支援活動，学術活動への報奨制度，学生間交流への支援を継続し，学科とのつながりを一層深め，在学生に対して更尽会の存在を更にアピールする。

具体的には，在学生間の縦の繋がりを強めるための学科企画（新 2 年生歓迎行事など）に対して助成を行うとともに，昨年度は実施できなかった特別講師の派遣による講義支援を再開する。また，更尽会賞（修士論文発表賞および卒業研究発表賞）による在学生の学術活動に対する表彰を継続実施する。

### 3. 年会費について

正会員および準会員への年会費の納入依頼については，更尽会ホームページでの案内を継続する。

また，2018（平成 30）年度卒業生の新会員の年会費に関しては，卒業時（2019 年 2～3 月頃）に納付依頼を案内し，卒業前納付に協力してもらう。

### 4. 更尽会ホームページについて

2018 年度も，更尽会の運営報告や事務局からの各種案内などは，ホームページを利用して実施する。あわせてホームページの充実を図る。

## 更尽会2018年度（2018.4.1～2019.3.31）予算（案）

## 【収入の部】

(単位:円)

科 目	2017年度決算	2018年度予算	備 考
年会費納入	642,000	700,000	2018.4.1～2019.3.31の年会費納入
寄付	0	0	
雑収入	2	291	利息など
前年度繰越金	3,103,465	3,529,709	
計	3,745,467	4,230,000	

## 【支出の部】

(単位:円)

科 目	2017年度決算	2018年度予算	備 考
通信費	3,024	10,000	総会案内等
備品・消耗品費	108	10,000	事務用品等
会議費	0	10,000	お茶代等
印刷費	20,340	10,000	封筒印刷等
交通費	6,740	50,000	幹事・会計監査・特別講師交通費等
総会運営費	38,016	50,000	会場費用等
報奨費	117,280	130,000	在学生学術活動の報奨、学生交流助成費
雑費	9,050	10,000	年会費振込手数料等
予備費	21,200	3,950,000	企画準備金、弔事関係経費等
次年度繰越金	3,529,709		
計	3,745,467	4,230,000	

更尽会 2018 年度 会計監査役（案）

卒業年度	氏 名
平成 28 年度	小 島 将 聖
平成 29 年度	土 山 美 樹



## 更尽会会員構成(2018年4月1日現在)

(人)

会員種別	区分			定員	故人	現員	
客員会員	現教職員			22	—	22	47
	旧教職員			29	4	25	
正会員	建設工学科	1	S59年度卒	32		32	1,924
	建設工学科	2	S60年度卒	29	1	28	
	建設工学科	3	S61年度卒	36		36	
	建設工学科	4	S62年度卒	43	1	42	
	建設工学科	5	S63年度卒	38		38	
	建設工学科	6	H01年度卒	41	2	39	
	建設工学科	7	H02年度卒	43		43	
	建設工学科	8	H03年度卒	45		45	
	建設工学科	9	H04年度卒	39		39	
	建設工学科	10	H05年度卒	42	1	41	
	都市システム工学科	1	H06年度卒	63	2	61	
	都市システム工学科	2	H07年度卒	71		71	
	都市システム工学科	3	H08年度卒	73		73	
	都市システム工学科	4	H09年度卒	71	1	70	
	都市システム工学科	5	H10年度卒	70	2	68	
	都市システム工学科	6	H11年度卒	72		72	
	都市システム工学科	7	H12年度卒	69		69	
	都市システム工学科	8	H13年度卒	57	1	56	
	都市システム工学科	9	H14年度卒	68		68	
	都市システム工学科	10	H15年度卒	66		66	
	都市システム工学科	11	H16年度卒	62	1	61	
	都市システム工学科	12	H17年度卒	73		73	
	都市システム工学科	13	H18年度卒	65		65	
	都市システム工学科	14	H19年度卒	66		66	
	都市システム工学科	15	H20年度卒	56		56	
	都市システム工学科	16	H21年度卒	58		58	
	都市システム工学科	17	H22年度卒	58		58	
	都市システム工学科	18	H23年度卒	62		62	
	都市システム工学科	19	H24年度卒	43		43	
	都市システム工学科	20	H25年度卒	54		54	
都市システム工学科	21	H26年度卒	56		56		
都市システム工学科	22	H27年度卒	53		53		
都市システム工学科	23	H28年度卒	56		56		
都市システム工学科	24	H29年度卒	54		54		
	大学院都市システム工学専攻修了生			53	1	52	
準会員	大学院博士後期課程、その他			29		29	29
合計				2,017	17	2,000	2,000

## ■2018年3月1日以降の会員訃報について

- ・伊藤 哲也 氏(H06011) 2018年3月ご逝去

## ◇2018年3月1日以降の(新)客員会員について

- ・稲用 隆一 助教(建築・都市デザイン) 2018年3月ご着任
- ・内藤 将俊 講師(建築設計, 建築意匠) 2018年6月ご着任

# 更 尽 会 会 則

平成 13 年 5 月制定  
平成 19 年 6 月改正

## 第 1 章 総 則

(目 的)

第 1 条 本会は、「更尽会」と称し、会員相互の親睦を図るとともに、会員の技術、識見、品格の向上を図ることを目的とする。

(事 業)

第 2 条 本会は、前条の目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 会員名簿の発行
- (2) 会報の発行
- (3) その他目的達成に必要な事業

(会 員)

第 3 条 本会の正会員は、次のとおりとする。

- (1) 茨城大学工学部建設工学科及び都市システム工学科の卒業生
  - (2) 茨城大学大学院工学研究科建設工学専攻及び都市システム工学専攻の修了生
  - (3) 茨城大学大学院理工学研究科都市システム工学専攻の修了生
2. 茨城大学大学院工学研究科及び理工学研究科博士後期課程の修了生で、主指導教官が都市システム工学科の教官であった者、及び本会の目的・事業等に賛同できる者は、本会の準会員とする。
3. 茨城大学工学部建設工学科及び都市システム工学科の教職員及びその職にあった者は、本会の客員会員とする。

## 第 2 章 役 員

(役 員)

第 4 条 本会の役員として、会長 1 名、副会長 2 名、幹事各学年 2 名を置く。

2. 役員任期は 2 年とし、再任を妨げないものとする。

(幹 事)

第 5 条 幹事は、各学年の会員より推薦し、総会において承認する。

2. 幹事は、幹事会の構成員となる。
3. 幹事は、本会の運営に必要な事務を行う。

(会長及び副会長)

第 6 条 会長及び副会長は、幹事の互選により選任する。

2. 会長は、会務を総理し、本会を代表する。
3. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けた時は、会長が予め指定する副会長がその職務を代理する。

## 第 3 章 会 議

(総 会)

第 7 条 会員総会は、毎年 1 回会長がこれを召集する。

2. 会長は、必要な場合には、臨時に総会を召集することができる。

(幹事会)

第 8 条 幹事会は、毎年 1 回会長がこれを召集する。

2. 会長は、必要な場合には、臨時に幹事会を召集することができる。
3. 幹事会は、次の各号に掲げる事項を審議する。
  - (1) 本会の予算及び決算
  - (2) 事業計画
  - (3) その他本会の運営に関する重要事項

## 第 4 章 会 計

(収入源)

第 9 条 本会は、正会員及び準会員より徴収する会費、寄付金及びその他の諸収入により運営する。

(会 費)

第 10 条 本会の正会員及び準会員は、年会費として 2,000 円を納付するものとする。

2. 年会費の納付は入会后 10 年間分とし、毎年納付または一括納付のいずれかによるものとする。

(会計年度)

第 11 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日より 3 月 31 日までとする。

(会計報告)

第 12 条 収支決算は、毎年 1 回これを各会員に報告する。

(会計監査)

第 13 条 会計監査役は、会長が会員のうちから 2 名を推薦し、総会において承認する。

2. 監査役は、本会の会計事務の監査を行うものとする。

## 第 5 章 雑 則

(会則の改正)

第 14 条 この会則の改正は、総会の議決による。

(委 任)

第 15 条 この会則に定めることのほか、本会の運営に関して必要な事項は、幹事会が定める。

附 則

この会則は、平成 13 年 5 月 12 日から施行する。

附 則

この会則は、平成 19 年 6 月 16 日から施行する。